

福 祉 文 教 常 任 委 員 会 会 議 記 録

1. 日 時 平成30年9月18日（火）

午前 9時30分 開会 午後 0時 1分 閉会

2. 場 所 第3委員会室

3. 出席委員 吉本慎太郎委員長、南藤陽一副委員長、吉村範明委員、片山瞬次郎委員、
出戸清克委員、宮西健吉委員、宮川吉男委員

4. 欠席委員 なし

5. 委員会の議題

《市民共創部》

【市民サービス課】

〈報告事項〉・小松市交通安全市民大会について

【こども家庭課】

〈報告事項〉・こどもサイエンスデイ2018の開催について
・こどもおしごとたいけん2018の開催について
・平成31年度保育所・認定こども園・幼稚園の入所申込みについて

【はつらつ協働課】

〈報告事項〉・はつらつ協議会の設立推進について
・第14回ふるさと小松検定の実施について

《予防先進部》

【医療保険サポートセンター】

〈報告事項〉・納付環境の充実について（スマホで納税がスタート）

【長寿介護課】

〈報告事項〉・60歳から始める健幸力アップ講座の実施について

《教育委員会》

【未来の教育課、図書館、ひととものづくり科学館】

〈報告事項〉・寄附受納について

【学校教育課】

〈報告事項〉・平成30年度ウォームアップ週間取組状況について
・平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について
・平成31年度使用小松市立小学校用教科用図書採択結果について
・平成31年度使用小松市立中学校用教科用図書（道徳）採択結果について
・平成31年度市立高採択希望教科書について

【ひととものづくり科学館】

〈報告事項〉・夏休みの活動状況等について

6. 委員長報告の要旨

■「こどもサイエンスデイ」について

理科・科学を通してこどもの好奇心や探究心を育み、生きる力の基本を身につけるとともに、幼児教育・保育の質の向上につなげることを目的に、小松駅周辺の「学びのゾ

ーン」に立地するサイエンスヒルズこまつ、カブッキーランドにおいて、「こどもサイエンスデイ2018」を開催するとのことであります。

おもしろステージや体験コーナー、不思議クッキングなど、多種多様な催しが予定されており、多くの来場者が見込まれるものでありますので、会場間の移動や駐車場利用に特段の配慮を求めたものであります。

■「こどもおしごとたいけん」について

こどものまちで警察署や消防署、病院など、普段では経験できない仕事を体験し、世の中にある職業を知ることにより、将来に対する自分の可能性を広げてもらうことを目的に開催している本事業については、毎年定員を大幅に上回る応募があり、抽選により参加者を決定している状況であります。今年度は、昨年度から定員を100人増やし、400人の定員を確保したとのことでありますが、一部の委員より、抽選により参加することが出来なかった児童に対する配慮を求める意見が出されました。

■はつらつ協議会の設立推進について

地域コミュニティが担ってきた防災・福祉・文化など様々な課題への対応力の低下が懸念される中、自らの地域における課題解決や住みよいまちづくりに向け、地域が中心となった取り組みを持続的に行う新たな地域運営の体制づくりが重要となっていることから、本市では、平成28年度より「はつらつ協議会」の設立を呼びかけているところであります。

はつらつ協議会については、現在、市内の5校下で組織され、地域の各種組織や団体との連携のもと、地域住民の交流促進イベントの開催や特定の地域課題に関する議論など多様な取り組みが行われているところでありますが、校下における組織の位置づけや役割、具体的な活動内容が不明確でわかりづらいなどの課題も浮き彫りになっているとのことであります。

はつらつ協議会は、今後、地域の知恵と力を結集することによるコミュニティ活動の活発化はもちろん、災害時等にも力を発揮することが期待されており、全市的な設立を推進していく必要があるため、校下公民館や市立公民館などの既存の公民館組織を発展的に改編することにより、その位置づけを明確化し、実効性のある運営のため、組織体制や活動内容のガイドラインを提示しながら関係者と協議を行い、来年4月を目標に新組織をスタートさせたいとのことであります。

これに対し、各委員からは、これまでの公民館の役割を維持していくことが出来るのか、はつらつ協議会が公民館組織に編入されるのであれば理解できるが、その上位に位置づけられるのであれば理解されにくいのではないか、校下の規模によって組織体制や活動内容に差異があるため、校下の実情に応じた活動から始めるべきではないか、地域のコンセンサスを得るための十分な時間を確保すべきではないか、モデルケースとして先行している5校下から10校下、過半数の校下へと段階的に進めた方が良いのではないか、新組織の設立目的や活動内容、既存の地域組織との棲み分けなどを整理し、明確に示すべきではないかなどの多くの意見が出されたものであります。

本委員会としては、現時点での判断はいたしません、今後、関係各位への説明を十分に行っていくことはもちろん、協議の進捗状況を随時委員会で報告するよう求めたものであります。